

◆小樽開発建設部の事業の進め方～「世界の後志」を目指して～

後志は、ブランド力のある多様な「食(農・水産物)」と、国内外から多くの観光客を引きつける「観光」の魅力を併せ持つ、北海道総合開発計画が掲げる「世界の北海道」を象徴するポテンシャルの高い地域です。

小樽開発建設部では、「世界の後志」を実現するため、各種社会基盤整備などを鋭意実施し、「農林水産業・食関連産業の振興」、「世界水準の観光地の形成」、「強靭で持続可能な国土の形成」等に取り組んでいます。

地域を支える小樽開発建設部



農水産業の持続的発展に寄与

- 農・水産物の生産性向上を図るため、農地の大区画化やかんがい排水事業、河川整備事業、水産基盤整備事業を行っています。
- 農・水産物の迅速かつ確実な物流ルートの形成と道内外への安定的な物流手段を確立するため、後志自動車道及び小樽港北防波堤の整備を進めています。
- 農・水産物の生産性向上及び物流の両面から、農水産業の持続的発展に寄与する取組を行っています。

世界水準の観光地形成に向けた環境整備

- 國際的な観光地であるニセコエリアへの移動時間の短縮や走行の安全・快適性の向上などを目的に、後志自動車道の整備を行っています。
- 近年増加するクルーズ船寄港に対応できるよう、大型クルーズ船の受け入れ環境整備を進めています。
- これらの事業により、國際的な観光地であるニセコエリアを始めとする後志地域の更なる発展にも寄与します。



Topics : i-Constructionの推進に向けた取組

小樽開発建設部(小樽道路事務所)は、i-Constructionの取組を先導する『i-Construction モデル事務所』に選定されており、同じく『3次元情報活用モデル事業』である「一般国道5号倶知安余市道路」において、3次元モデル設計を活用した工事施工を推進しています。

また、BIM/CIM活用に向けた勉強会の開催、地方自治体におけるICT活用の支援など、実施拡大や普及推進の課題解決に取り組んでいます。



BIM/CIMモデルで構築したVR(仮想現実)空間により、橋梁の形状や配置、周辺景観との調和など、設計内容をわかりやすく検証することができます。

